

組 合 の 沿 革

社会経済の急速な進展に伴い、消防の体制も時代に即応した近代的合理化はもとより有機的な相互応援体制として、広域化、常備化を図るため、石狩北部地区町村を以って、消防一部事務組合の設置を推進しました。

- 昭和44. 1 1 当別町、新篠津村、厚田村、浜益村の4町村により消防一部事務組合を設立し共同で消防本部、署を設置する計画について、道及び4町村で協議
- 昭和45. 3 4町村で消防施設計画書、道に提出
4町村助役、消防団長、総務課長会議開催、消防団を含めた事務組合設立と分担金の負担率について協議
- 8 4町村助役、総務課長会議開催し、組合予算等について協議
- 1 0 地方第1905号指令により組合設立許可
石狩北部地区消防事務組合発足、消防本部設置（署、消防団を除く）
4町村の町村長会議開催、組合管理者に当別町長近藤辰雄氏互選
組合議長に当別町議会議長山田政太郎氏、副議長に新篠津村議会議員若松鉄治氏選任、副管理者に当別町助役上口正一氏、収入役に副管理者兼掌、監査委員に片岡一応氏選任
- 昭和46. 2 副管理者に当別町助役江間実氏選任
- 4 消防組織発足
消防本部、署、所設置、消防長に配野博氏就任
1本部、1署、3出張所、消防吏員35名、事務職員2名、計37名、4消防団、団員580名
- 5 広報「消防組合」第1号発刊
組合管理者に当別町長上口正一氏互選
- 6 消防本部及び消防署を置かなければならない市町村として当別町、新篠津村、厚田村、浜益村が指定（自治省告示第110号）
救急業務を行わなければならない市町村として当別町、新篠津村、厚田村、浜益村が指定（自治省告示第111号）
当別町議会議長川村弘司選任
- 昭和47. 4 石総務第62号指令により石狩町の加入に伴う組合規約変更許可
石狩町の組合加入により、1本部、1署、4出張所、消防吏員59名、事務職員3名、計62名、5消防団、消防団員770名
消防本部及び消防署を置かなければならない市町村として石狩町が指定（自治省

		告示第106号)
	9	消防団員定数785名
昭和48.	4	消防団員定数768名
	6	救急業務を行わなければならない市町村として石狩町が指定（自治省告示第119号)
昭和49.	4	石狩出張所を石狩消防署に昇格 消防吏員71名、事務職員4名、計75名
昭和50.	5	組合管理者に当別町長上口正一氏互選 組合議会議長に当別町議会議長後藤正義氏、副議長に浜益村議会議員木村武一氏 選任、収入役に当別町収入役吉原貞義氏選任
	8	副管理者に当別町助役配野定平氏選任
昭和51.	8	収入役に当別町収入役竹原庄一氏選任
昭和52.	2	監査委員に田村正治氏選任
	4	消防吏員88名、事務職員4名、計92名、消防団員定数753名
	9	組合消防連合訓練大会、当別町に於いて開催
昭和53.	3	自治体消防制度30周年記念式典参加
	4	消防吏員99名、事務職員4名、計103名 石狩北部地区危険物安全協会設立
昭和54.	4	消防吏員105名、事務職員4名、計109名
	5	管理者に当別町長上口正一氏再選、組合議長に当別町議会議員川村弘司氏再選
昭和55.	4	消防吏員105名、事務職員5名、計110名 組合初の少年消防クラブ、当別町北栄町少年消防クラブ誕生
	5	組合初の婦人防火クラブ、浜益村濃昼地区婦人防火クラブ誕生
	7	収入役に当別町収入役松野栄治氏選任
	9	消防団員定数738名
10		トンネル火災訓練実施、厚田村滝の沢トンネル 実施機関 消防本部、厚田出張所、厚田消防団、浜益出張所、浜益消防団、当別 消防署、石狩消防署 協力機関 札幌開発建設部当別出張所、厚田村、浜益村他
昭和56.	2	副議長に石狩町議会議員萩原茂樹氏選任
	6	管理者上口正一氏死去
	8	管理者に当別町長配野定平氏互選、副管理者に当別町助役近藤善留氏選任
	9	組合創設10周年記念式典、当別町に於いて開催
11		石狩北部地区幼年・少年・婦人防火委員会発足
昭和57.	5	組合初の幼年消防クラブ、当別町西保育所幼年消防クラブ誕生

- 1 1 消防長配野博氏退職、消防長に安栄昭治氏就任
- 昭和58. 5 議長に当別町議会議員川村弘司氏再選、副議長に浜益村議会議員武安喜一郎氏選任
- 1 0 消防吏員106名、事務職員5名、計111名
- 昭和59. 3 消防本部に予防広報車（軽乗用車）更新配置
- 6 収入役に当別町収入役松野栄治氏再選
- 1 0 婦人防火クラブ研修会、新篠津村に於いて開催
- 1 2 石狩北部地区防火クラブ設置地区懇談会、消防本部に於いて開催
- 昭和60. 2 副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏選任
- 4 消防吏員106名、事務職員5名、計111名
- 道央地区消防長会議、当別町に於いて開催
- 5 当別消防署、石狩消防署に救助隊設置
- 6 石狩川水防演習（札幌市豊平川右岸）に参加
- 主催 北海道開発局他 当別消防団、石狩消防団参加
- 消防団員現地教育訓練を消防本部に於いて開催（石狩北部地区、江別市）
- 8 管理者に当別町長配野定平氏再選
- 9 副管理者に当別町助役長谷川政吉氏選任
- 昭和61. 9 高圧ガス輸送保安確保共同防火訓練（石狩新港地区）に参加
- 主催 通商産業省、石狩北部地区、札幌市、北海道、北海道警察参加
- 1 1 消防吏員108名、事務職員5名、計113名
- 昭和62. 5 議長に当別町議会議員川村弘司氏副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏再選
- 昭和63. 3 自治体消防40周年記念式典参加及び消防幹部研修視察
- 4 消防吏員111名、事務職員5名、計116名
- 7 収入役に当別町収入役伊達寿之氏選任
- 平成 元. 2 監査委員に片岡弘二氏選任
- 4 消防吏員112名、事務職員5名、計117名
- 8 管理者に当別町長配野定平氏再選
- 9 副管理者に当別町長助役長谷川政吉氏再選
- 平成 2. 4 消防吏員115名、事務職員5名、計120名
- 平成 3. 2 北海道広域消防相互応援協定調印
- 3 消防長安栄昭治氏当別町へ異動
- 4 消防長に山崎勲氏就任
- 当別消防署新篠津出張所、同厚田出張所、同浜益出張所を支署に改称
- 消防吏員117名、事務職員5名、計122名
- 5 議長に当別町議会議員金山保氏選任、副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏再任、議会選出の監査委員に浜益村議会議員滝本一次氏選任

- 1 0 副管理者に当別町助役伊達寿之氏選任
- 1 1 組合創設20周年記念式典挙行（当別町総合体育館）
- 平成 4. 4 消防吏員122名、事務職員5名、計127名
- 7 収入役に当別町収入役山本達雄氏選任
- 8 石狩北部地区少年消防クラブ研修会、消防本部に於いて開催
高速自動車道消防総合訓練に当別消防署、石狩消防署が参加
- 平成 5. 2 監査委員に片岡弘二氏、議会選出の監査委員に浜益村議会議員滝本一次氏再任
- 4 消防吏員127名、事務職員5名、計132名
- 8 管理者に当別町長伊達寿之氏選任
副管理者に当別町助役飯田敬氏選任
- 1 1 自治体消防45周年記念大会参加及び組合消防幹部研修視察（東京都）
- 平成 6. 1 消防長山崎勲氏当別町へ異動、消防長に熊谷時男氏就任
- 2 収入役に当別町収入役山崎勲氏選任
- 4 消防吏員132名、事務職員5名、計137名
- 6 平成6年度石狩川水防公開演習が組合管内石狩町で開催、当組合より消防本部、
当別消防署、新篠津支署、石狩消防署、当別消防団、新篠津消防団、石狩消防団
が参加
- 8 平成6年度北海道防災総合訓練が組合管内石狩町で開催、当組合より消防本部、
各署、支署、消防団が参加
- 1 2 収入役に当別町収入役小林登氏選任
- 平成 7. 4 消防吏員141名、事務職員6名、計147名
消防本部に2課設置
- 5 議長に当別町議会議員青山義虎氏選任、副議長に石狩市議会議員長原徳治氏選任
- 8 海老消防庁審議官来庁（消防本部、当別消防署、石狩消防署視察）
- 平成 8. 4 消防吏員150名、事務職員5名、計155名
- 平成 9. 2 監査委員に片岡弘二氏、議会選出監査委員に厚田村成田一夫氏選任
- 4 消防吏員155名、事務職員5名、計160名
- 7 緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練、札幌市に於いて開催（消火
隊として当別消防署1隊参加）
管理者に当別町長伊達寿之氏再任
- 8 副管理者に当別町助役飯田敬氏再選
- 平成 10. 2 収入役に当別町収入役、高橋嘉郎氏選任
- 3 自治体消防50周年記念大会参加及び組合消防幹部研修視察（三重県久居地区広
域消防組合）
- 4 消防吏員162名、事務職員5名、計167名

- 7 議長に当別町議会議員竹田和雄氏選任
- 平成11. 4 消防吏員168名、事務職員5名、計173名
規約改正に伴い、副管理者2人制となり、副管理者に石狩市助役田岡克介氏選任
組織改革に伴い、副消防長2人制施行
- 5 議長に当別町議会議員千葉庄康氏、副議長に石狩市議会議員成田敏彦氏選任
議会選出監査委員に厚田村議会議員成田一夫氏再任
- 8 副管理者に石狩市助役青野誠氏選任
- 平成12. 3 有珠山噴火に伴い、北海道広域消防相互応援協定に基づき、当組合から水槽隊支援隊（3月30日～5月8日延人員151名）2隊を伊達市、虻田町へ派遣
- 4 消防吏員171名、事務職員5名、計176名
- 平成13. 2 監査委員に片岡弘二氏再任
- 4 消防吏員174名、事務職員3名、計177名
- 6 組合創設30周年合同連携訓練実施（当別町）
- 8 管理者に当別町泉亭俊彦氏選任
- 9 副管理者に谷本辰美氏選任
- 10 消防長熊谷時男氏当別町へ異動、消防長に配野行雄氏就任
組合創設30周年記念式挙行（消防本部）
- 平成14. 4 消防吏員176名、事務職員3名、計179名
- 8 収入役に石狩市収入役、星正明氏選任
- 平成15. 3 消防長配野行雄氏当別町へ異動
- 4 消防長に上田誠二氏就任
消防吏員175名、事務職員3名、計178名
- 6 議会選出監査委員に新篠津村議会議員砂田博幸氏選任
- 11 自治体消防55周年記念大会参加及び組合消防幹部研修視察（東京都、熱海市）
- 平成16. 4 消防吏員176名、事務職員2名、計178名
副管理者に佐々木保氏選任
- 5 消防吏員176名、事務職員3名、計179名
- 平成17. 2 監査委員に米口稔氏選任
- 4 消防吏員182名、事務職員3名、計185名
- 6 平成17年度石狩川水防公開演習が組合管内当別町で開催される
- 8 副議長に石狩市議会議員中田守氏選任
- 10 厚田村、浜益村の石狩市への編入合併により組合構成が当別町、新篠津村、石狩市の1市1町1村となる
石狩消防署北出張所、厚田消防署、浜益消防署を石狩消防署親船支署、厚田支署、

- 浜益支署に改称
- 平成18. 4 消防本部事務所を石狩市に移転
 管理者に田岡克介（石狩市長）氏就任
 規約改正により副管理者3名（各構成市町村助役）体制
 消防長に川端章義氏就任
 消防吏員173名、事務職員3名、計176名
- 5 消防吏員176名、事務職員3名、計179名
- 11 石油コンビナート等特別防災区域に石狩地区指定
- 平成19. 4 会計管理者に工藤泰雄氏就任
 職員定数条例改正により職員の定数は消防吏員182名、その他の職員5名
 消防団条例改正により消防団定数が当別消防団170名、新篠津消防団90名、
 石狩消防団145名、厚田消防団82名、浜益消防団93名
 消防吏員170名、事務職員5名、計175名
- 6 規約改正により組合議員定数6名（各構成市町村2名）体制
 議長に石狩市議会議員長原徳治氏、副議長に当別町議会議員桐井伸征氏選任
 議会選出監査委員に新篠津村議会議員北口敬二氏選任
- 7 消防本部に広報車更新配置
- 9 消防長川端章義氏石狩市へ異動
- 10 消防長に二社谷康治氏就任
 会計管理者に受川克寛氏就任
 消防吏員171名、事務職員5名、計176名
- 12 消防吏員170名、事務職員4名、計174名
- 平成20. 3 自治体消防60周年記念大会参加
- 4 消防団条例改正により消防団定数が当別消防団170名、新篠津消防団90名、石
 狩消防団320名
 消防吏員168名、事務職員4名、計172名
- 6 消防吏員170名、事務職員4名、計174名
- 7 北海道洞爺湖サミット（7月5日～11日）開催に伴い、北海道洞爺湖サミット消
 防・救急体制整備に関する応援協定に基づき、当組合から救急隊1隊6名（留寿都
 村）、予防警戒員1名（千歳市）の計7名を派遣
 消防吏員170名、事務職員3名、計173名
- 8 消防吏員169名、事務職員3名、計172名
- 10 消防吏員170名、事務職員3名、計173名
- 平成21. 2 監査委員に米口稔氏再任
- 3 消防吏員168名、事務職員3名、計171名

- 4 消防吏員 164名、事務職員 3名、計 167名
- 5 消防吏員 168名、事務職員 3名、計 171名
- 6 議長に石狩市議会議員千葉正威氏選任
- 平成 22. 1 2 消防吏員 167名、事務職員 3名、計 170名
- 3 消防長二社谷康治氏石狩市へ異動
- 4 消防長に清野和彦氏就任
会計管理者に鈴木徳昭氏就任
- 消防吏員 166名、事務職員 3名、計 169名
- 5 消防吏員 173名、事務職員 3名、計 176名
- 9 平成 22年度北海道石油コンビナート等総合防災訓練が石狩市新港地区に於いて開催
- 1 1 平成 22年度緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練が福島県郡山市に於いて開催（隊員 2名派遣）
- 平成 23. 2 消防吏員 172名、事務職員 3名、計 175名
- 3 東日本大震災被災地に緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ 3月 12日～18日（1隊 6名）3月 22日～27日（1隊 5名）4月 9日～15日（1隊 5名）合計 3隊 16名を派遣
- 4 会計管理者に大塚隆宣氏就任
- 消防吏員 171名、事務職員 3名、計 174名
- 5 消防吏員 174名、事務職員 3名、計 177名
- 6 組合議長に石狩市議会議員長原徳治氏、副議長に当別町議会議員柏樹正氏選任
議会選出監査委員に新篠津村議会議員今田義春氏選任
- 消防吏員 173名、事務職員 3名、計 176名
- 1 1 消防吏員 172名、事務職員 3名、計 175名
- 平成 24. 4 消防吏員 172名、事務職員 4名、計 176名
- 5 消防吏員 175名、事務職員 4名、計 179名
- 6 IFCAA2012SAPPORO 国際消防救助隊合同訓練（6月 21・22日）開催に伴い、当組合から救助工作隊 1隊 5名、後方支援 1名の計 6名を派遣
- 8 消防吏員 174名、事務職員 4名、計 178名
- 1 0 消防吏員 175名、事務職員 4名、計 179名
- 1 1 消防吏員 174名、事務職員 4名、計 178名
- 平成 25. 2 識見経験者における監査委員に秋吉義雄氏選任
- 4 消防吏員 172名、事務職員 4名 計 176名
- 6 組合議長に石狩市議会議員米林渙昭氏選任

- 8 副管理者に新篠津村副村長窪田守氏就任
- 10 消防指令センター運用開始
消防指令センター3部制導入
緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練が苫小牧市に於いて開催
（隊員5名派遣）
- 11 消防団120年・自治体消防65周年記念大会参加（東京）
- 平成26. 2 新送毛トンネル開通（救助訓練）
4 消防吏員175名、事務職員3名 計178名
7 議員行政視察 道東方面
8 石狩湾新港開港20周年記念式典
9 石狩湾新港支署開署式
- 平成27. 3 消防長清野和彦氏退職
4 消防長に内藤廣之氏就任
4 消防吏員176名、事務職員2名 計178名
4 消防団条例改正により消防団定数が当別消防団170名、新篠津消防団90名、石狩消防団285名
5 消防吏員178名、事務職員2名 計180名
6 組合議長に石狩市議会議員日下部勝義氏、副議長に当別町議会議員市川正氏選任
議会選出監査委員に新篠津村議会議員藤永康夫氏選任
- 平成28. 1 浜益トンネル開通（情報伝達訓練）
4 消防吏員176名、事務職員2名、再任用職員2名 計180名
4 組合情報セキュリティポリシー策定
組合ストレスチェック制度運用開始
組合人事評価制度試行運用開始
4 公益財団法人北海道消防協会札幌地方支部内消防団相互応援協定締結
5 消防吏員180名、事務職員2名、再任用職員2名 計184名
6 第22回全国女性消防団員活性化北海道大会参加（札幌市）
9 札幌市総合防災訓練（南区）～札幌地方支部内消防団相互応援協定締結に伴い当別消防団（名）、新篠津消防団（名）、石狩消防団（名）が訓練に参加
- 平成29. 2 識見経験者のおける監査委員に西村良伸氏選任
4 消防吏員180名、事務職員2名、再任用職員5名 計187名
5 消防吏員182名、事務職員2名、再任用職員5名 計189名
6 組合議長に石狩市議会議員青山祐幸氏、議会選出監査委員に新篠津村議会高橋孝志氏選任
- 10 消防吏員181名、事務職員2名、再任用職員5名 計188名

- 平成30. 3 消防長 内藤廣之氏退職
 4 消防長に市園博行氏就任
 4 消防吏員 179名、事務職員 2名、再任用職員 4名 計 185名
 5 消防吏員 182名、事務職員 2名、再任用職員 4名 計 188名
 8 石狩市において第70回北海道消防大会開催 総勢2,232名
 12 消防吏員 181名、事務職員 2名、再任用職員 4名 計 187名
- 平成31. 4 消防吏員 177名、事務職員 1名、再任用職員 7名 計 185名
 4 会計管理者に蝦谷学俊氏就任
 4～5 夕張市石炭博物館模擬坑道火災に対し、北海道広域応援協定により延べ4隊17名派遣
- 令和 元. 5 消防吏員 183名、事務職員 1名、再任用職員 7名 計 191名
 6 組合管理者に加藤龍幸氏（石狩市長）就任
 6 組合議長に石狩市議会議員蜂谷三雄氏、副議長に当別町議会議員岡野喜代治氏選任、議会選出監査委員に新篠津村議会高橋孝志氏、監査委員（識見を有する者）に白井応隆氏選任
 10 G20 観光大臣会合の消防特別警戒のため、倶知安町へ延べ3隊12名派遣

令和元年組合内消防署・団の出来事

○当別消防署・当別消防団

- 平成31. 3 消防団長鰐渕啓一氏 退任
 4 常備消防職員1名増員、38名（指令センター派遣など3名除く。）となる
 4 消防団長に木屋路喜代史氏就任
 4 消防署長に佐々木伸幸氏就任
- 令和 元. 5 常備消防職員1名増員、39名（指令センター派遣など3名除く。）となる
 5 当別町高校生ホームステイ研修事業（スウェーデンレクサンド）のため職員1名派遣
 8 当別消防団第3分団望楼解体 561千円
 9 太美東地区防火水槽用地購入 2,600千円
 11 元当別消防署 消防司令 髭右近栄三郎氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章
 12 令和元年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救命胴衣27着及び消防団員用防火服50式配備

○新篠津消防署・新篠津消防団

- 平成 3 1. 2 新篠津消防庁舎耐震診断業務委託 1, 9 6 5 千円
3 消防団長 野村邦男氏 退任
4 消防団長に山本慎一氏 就任
令和 元. 5 常備職員 2 名増員 1 6 名となる
9 事務用パソコン購入 1, 5 0 6 千円
新篠津村拓新自治区にて原料庫内部の一部及び収容物が焼損する建物火災が発生した

○石狩消防署・石狩消防団

- 平成 3 1. 2 石狩市生振 1 0 5 番地 6 国道 3 3 7 号上で車両 2 6 台の多重衝突事故が発生
3 石狩消防団 本団 副団長 八木沼正見氏 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章
石狩消防署 消防司令 卯野敏彦氏 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章
平成 3 0 年度緊急消防援助隊設備整備費補助事業により救助工作車Ⅱ型及び
救助資機材配備 1 1 2, 3 2 0 千円
4 常備職員 2 名採用 1 1 0 名となる、再任用職員 1 名採用
(派遣、再任用職員を除く)
令和 元. 5 常備職員 3 名採用 1 1 3 名となる
(派遣、再任用職員を除く)
元石狩消防署 消防司令 中川昌時氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章
6 水難救助事案に伴う消防協力者 男性 2 名 表彰 (石狩消防署長表彰)
7 石狩消防団厚田分団詰所移転
1 0 バス車内でのポスター掲出 (火災予防広報) に伴い 北海道中央バス株式会社
石狩営業所 表彰 (石狩消防署長表彰)
1 2 緊急防災・減災事業債により化学消防ポンプ自動車Ⅱ型及び災害対応資機材配備
7 6, 4 5 0 千円